

色差・光沢はそのものの見た目を左右する重要な物性であるため、自動車製品や建築材料等の耐候性試験前後によく測定されます。その他にもインクや有機材料の劣化評価としても測定されます。

JTLでは、外観変化評価の一つとして、耐候性試験前後の色味・光沢度の測定を一元対応可能です。

耐候性試験（キセノン）

太陽光の分光分布に最も近いキセノンランプを用い、屋外暴露と比較し20倍程度の促進試験が可能です。

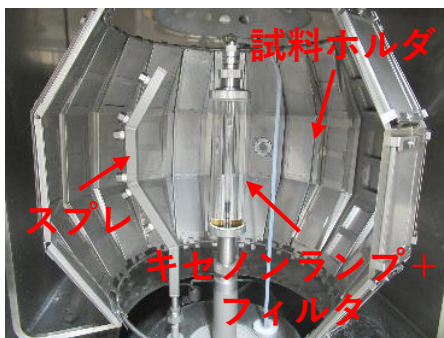
●装置スペック

放射照度（300～400nm）：60～180W/m²

試験項目：照射、照射＋降雨、暗黒、暗黒＋結露、暗黒＋降雨・結露

温湿度範囲（照射試験時）：BPT50～95±1℃、湿度50～60±5%RH

試験片枚数（150*70*1mm）：51枚



〈槽内構造〉

色差・光沢度測定

【色差】試験片に光を照射し、反射光を分光して色差を測定します

【光沢】試験片に光を照射し、物体表面の鏡面反射光の度合いを測定します

●装置スペック

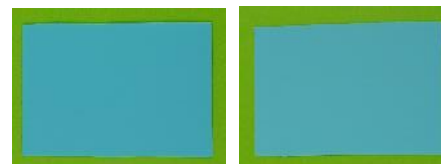
温度範囲：-70～180℃

湿度範囲：20～98%RH

●測定結果イメージ

〈試験前〉

〈試験後〉



●光沢

Gs60°	
試験前	試験後
85.0	4.4

(%)

●色差

項目	試験前	試験後	ΔE*
L*	73.71	75.87	3.82
a*	-32.38	-29.60	
b*	-20.12	-18.65	

▼ お問い合わせ先はこちら 評価技術に関するご質問・ご相談はWebのお問い合わせフォームまで

<https://jtla.co.jp/contact/01/>